



普通救命講習会 10月4日



3年生の希望者27名が新座消防署片山分署の「普通救命講習会」に参加し、「普通救命員」の資格をいただきました。



自分たちの班の隊員さんが、救急車が来るまでの間に、心臓圧迫やAED以外にもこんなことをやってくれたら助かるということを教えてくれたので、もし救助が必要な場面に出くわしたときには、心臓圧迫とAEDはもちろん、他に救急隊員さんが教えてくれたこともできると良いと思いました。



2年生の時に授業で行ったが、今回はそれを思い出しながら行ったり、すぐに質問をしたりすることができて、とても良い環境で行えました。救急隊員の方々に質問をしやすい雰囲気でした。

救命のことだけでなく、出血や窒息についても教えていただき、対処法や確認方法などを知ることができた。この知識を忘れずに、場面に遭遇したら、自ら行動できるようになりたい。

胸骨圧迫やAEDの使い方は授業で習ったこともあり、なんとなく使い方は知っていましたが、今回の講習で細かいところまで知ることができてとても良かったです。

本格的な講習を受けることができました。心肺蘇生など今回学んだことは、「人の命を助ける」ために必要なスキルだと思います。緊急事態が起きないことが一番です。しかし、起きない可能性は0%ではありません。少しでも良い状態でこれからを生きてもらうために、今回学んだ救急方法を活かしていきたいです。

ようやく実現した今回の講習会。参加した生徒たちは汗を流しながら、救命対応の訓練に真剣に取り組んでいました。参加者全員が満足のいく講習でした。今後、27名の救命員が緊急時に誰かの力になってくれることがあれば、この講習会の意義があると思います。自らこの会に参加してくれたみなさんありがとうございました。是非、3年後に更新講習を受けて今回得た知識と手技を維持してください。

今月の生活目標は見ましたか？「清掃をしっかりとやろう」です。全校で清掃に取り組んで、学校を隅々まできれいにしてくれていますが、その取り組みが成果としてしっかり現れている清掃場所があるので紹介します。西側2階の男女トイレと流しを担当している3-7は前期からほぼメンバーが固定され、同じ箇所を受け持って清掃を行っています。2学期半ばまでになると、各自がスペシャリストになっていて、手際がよく時間内にやるのがしっかり出来ていました。全校で取り組んでいるもくもく清掃は言うまでもなく、さらに持ち場をきれいにしてみんなが気持ちよく使えるようにと心がけているところが素晴らしいです。トイレや流しは汚れやすく、そのままにしておけば、誰も触りたくないと思う場所を常にきれいな状態で維持してくれている清掃メンバーに感謝です。「いつもきれいにしてくれてありがとう」



汚れやすいところも嫌な顔をせず、磨いてくれます。歯ブラシなどを使って細かい部分も磨くなど清掃用具の工夫もしています。

このトイレや流し、洗面台全てがピカピカなんです！班員一人ひとりが自分の分担場所に責任と誇りを持っているのを感じました。



**日本一きれいなトイレを
目指しています！** by3-7清掃担当

